(3)

として開催し、会場となった フクラシア浜松町会議室C

設計事務所が集積するといっ

てとなるオンライン併用大会

つ自らは現場施工能力を持た

ない小規模建設事業者と建築

かで、初め

見】第53回支部定期大会を4 【西多摩·書記·濱徹通信

型の開催として、参加は支部 型の開催を取りやめ事前提案 教室や住宅デーのイメージに

安定した4千人支部を 組合の重要さ再認識

多摩西部

10

|続実増目指す

多摩西部、西多摩 小金井国分寺、府中国立

陸世ブロック

内の感染拡大を考慮して招集 月11日に支部会館で開催。都 討議を行ないました。 い会場を確保して招集型での 行委員会での議案討議は、広 4役8人のみとしました。 2月28日に行なった臨時執

現のために重要な の活動がコロナ禍 での仲間の要求実 安定した4000 会の発展・強化や 体ごとの地域協議 ていること、自治 る事が再認識され 役割を果たしてい は、組合組織とそ 人支部を目指すと 新年度方針で

規通信員】多摩西部支部は4

立川を会場に第5回定期大会

11日にホテルエミシア東京

【多摩西部・書記・渡邉宏





冒頭あいさつをする 清水委員長

員44人、 者は代議 どで届き大会を終了しまし ついての質問などが出されま 会から承認の連絡がFAXな した。当日は10時半には全分

新4役は次の通り。委員長

記次長・市川耕平、今井航、 本勤。書記長・式場徳昭。書 亨、髙山勝宏、辻岡邦之、宮 宮崎透。副委員長市川

組合員に感謝を述べ、10年連 ロナ禍にもかかわらず9年連 いこうと力強く挨拶をしまし 続の実増を目指して団結して 続組織実増に尽力してくれた 大会終了後は同会場で春の

ができました。 の成果持寄りで春の月間スタ 果持寄りがあり、合計で3件 は事業所分会の20件を先頭に りを確認していました。当日 分会2件以上の加入成果持寄 ました。事前に出陣式には各 全ての分会から2件以上の成 拡大月間支部出陣式を開催-- トダッシュに成功すること

出陣式では持寄り63件

し、参加 禍を考慮 ました。 コロナ 記次長・小笠原一樹、佐藤英 剛志。書記長·大房孝朗。書 川伸一。副委員長待遇·檜山 実、渡邉孝一、木下和成、森 • 清水政廣。副委員長 • 鴇崎 新4役は次の通り。委員長

頭、清水委員長は、昨年度コ 午前中のみの開催でした。冒 での教訓を生かし う

人に絞り、分科会は行なわず

立・書記・

推進と組織

を生かし、「コロナ禍でも出なってきた活動や運動の教訓

つに立つ宮澤委員長

を確認しました。

来ること」を進めていくこと

長・宮澤和也。副委員長・小

新4役は、次の通り。委員

島成彦、松本勇一、渡邉浩志、

で開催さ 日に府中国 会が4月11 75回定期大 員】府中国 立支部会館 立支部の第

> 20年度のコロナ禍で行 組織的力量を引き上げ、

国分寺・書

【小金井

て、当日参加する代議員数を

輝記】4月

18日、国分

南書記長による基調報告

記•片桐由

体会のみの半日開催となりま 51人に絞り、3密を避け、全

あいさ

書記長・畠山京子。書記次長

世並佳史、水川克治。

小笠原秀、石村英明(待遇)。

としため、分科会は開催しま 対策のため、短縮・縮小開催 新型コロナウイルス感染予防 せんでした。 が参加しました。今大会は、

30代の執行委、誕生

コロナ対策相談の取り組み、 は、組織拡大・強化の運動や

寺労政会館

分寺支部第 で小金井国

というスローガンを掲げ、仲 形成を目指し奮闘しよう!」 動を組織的に展開し、大衆的 業民主化と社会保障拡充の運 間づくり運動を各種運動に繋 へ運動の推進と組織の多数派 2021年度は、「建設産

阪本新通信

府中国立 の総勢35人 代議員1人 33人、特別 れ、来賓1 人、代議員

活気

期大会を開

53回支部定

勝利、土建国保を守る運動な 12年に及ぶアスベスト訴訟の

どの成果と今後の課題を強調

長・井澤典一、副委員長・菅 対策とし

国小 分金 寺井

ど、過去最高の26人の来賓の 各会派の議員や共闘団体な 方が駆けつけて下さいまし 地元建設組合、品川区、

・野村和好。副委員長・松井新4役は次の通り。委員長 会は無事終了となりました。 最後に大会スローガンを確認 (声出しは書記長のみ)で、大 「一般経過報告」「運動方針 短い時間でありましたが、 書記長のガンバロー三唱 「決算予算案」を採択、

るなど、活気ある大会となり 鯉淵勝也。副委員長・南雲 には30代の執行委員が誕生す ての提案を承認。新年度役員 新4役は次の通り。委員長

コロナ感染 催しまし 今期は、 したものとなりました。

進めることが提案されまし 強化、加えて支部再編につい る政治の実現などの諸運動の 優先から労働者・中小零細業 的に組織拡大を進めること 障破壊に歯止めをかけ大企業 や、産業対策の課題、社会保 ても支部内での議論と検討を 者の仕事とくらしが優先され ある群の強化で、仲間が主体 方針提案では、基礎組織で

質疑の後、満場一致ですべ

書記長・南哲司。書記次長・ 星清志、片桐由輝、小野寺和 正博、平松省二、朝倉法明。

津田光久。書記長・小林紀々

書記次長・五日市浩志、

広仲、関口浩助、佐藤博信、

記•御﨑誠 ロナ禍のな 大会は、コ 港支部定期 15日に開催 した第7回 **記** 4月

【港・書

さん る大島分 一、勤務 大島にあ 会センタ

クや自宅などから代議員27 結集しました。 へ、特別代議員14人が大会に 先のデス

分離した労働者を雇用し、か 動と、町場建築市場の縮小、 巨大資本の発注の元で職住が 禍に

悩む中間に

寄り添った

活 設従事者の居住率の減少、 新年度方針として、コロナ

と、伊豆 領域―フロンティアを切り開 働運動の未開拓かつ最先端の これまでの建設労働運動が紡 く多様な運動を展開していく いできた産業別居住地組織の 原則では包摂できない建設労

た都心区独自の課題に向け、

唐亀竜太、軍司有紀乃。 弘之、中村鎮雄、林靖久。書 記長・御﨑誠人。書記次長・ ことが確認されました。 ・出井章史。副委員長・清水 新4役は次の通り。委員長

ました。新たな提案としては、 らった事への謝意が述べられ らず、支部方針に協力しても

大な負担を強いたにもかかわ

ローを行ない、終了しました。 新委員長の発声で団結ガンバ 明を述べました。最後は井澤

書記長・安藤信也、書記次長

原稔晴、平林諭司、髙橋晃一。

新4役は以下の通り。

委員

·川島環、川本肇、平山裕也。

台費の集約など、役員には多

支部の体制強化をはかるた

め、来年度から副委員長、常

品川

議員や共闘団体など

来賓26人駆けつけ

大田 委員長より役員に謝意 多大な負担強い

回の大会では、その役員選出

任執行委員を増員します。今

のための地域ブロック割を提

【品川・書記・小島毅通信

参加で開催しました。

コロナ禍のなか、出来る限

人数を縮小し、代議員73人の

示し、承認されました。

も減らし、時短と三密回避に 会を開催。半日開催で参加者 業プラザ・小ホールにて、77 通信員】4月11日、大田区産 人の参加で第66回支部定期大 【大田支部・書記・川島環

配慮しました。委員長あいさ つでは、コロナ禍の中での組 果をあげた4分会が、決意表 式を開催し、春一番拡大で成 議事終了後、支部拡大出陣

港、品川

大会を半日大会として、参加 トホール」にて、第4回定期 区民会館「きゅりあんイベン 員】4月17日、品川区立総合

南部ブロック、世田谷支部を りの感染対策を施し、本部、